

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2193回★ 京都府下182座完登 権現山Ⅱ△526.7m	11月7日(土) 8:00 壬生	大槻 雅弘 (内770)	
<p>坂井久光氏が提唱されて久しい京都府内500m以上の三角点の182座完登を目指してきたのがやっと、この権現山で終わります。京交の坂井氏がリストを作られたのが、今までは他の山岳会から本を出版されるようになり、京交以外かくれたファンもあります。私の知る限り5人の完登者がいます。ご同行願える方、担当者まで連絡して下さい。</p>			
第2194回★★ 蔵王周辺の山々	11月10日(火)～13日(金)	三橋 勉 (自宅581-3562)	京都-仙台…本檜(白石) …大洞山(赤湯)…黒森山(赤湯)
第2195回★★ 恐羅漢山と阿佐山	11月13日(金)～15日(日) 13日 6:00 壬生	吉田 武 (内654)	13日 京都-戸河内-恐羅漢山-テント泊 14日 冠山登山-テント泊 15日 阿佐山登山-京都
<p>備考1. 参加者は担当者に連絡して下さい。 2. テント泊の用意と日帰り装備 3. 食糧は現地にて購入 4. 費用15,000円(マイカーのため参加人数によって変わります)</p>			
第2196回★★ 三峰山 (1等△1,235.4m) 古光山(△952.7m)	12月5日(土) 7:00 竹田駅西口	井戸 澄夫 (内810) (外822-9181)	竹田 ^{R24} -桜井 ^{R165} -榛原 ^{R369} -神末-不動滝…三峰山…不動滝-古光山-帰路
今月の集会 日時 11月10日(火)18:30 場所 厚生会館 4F 大教室		企画運営委員会 日時 11月20日(金)18:30 場所 厚生会館 4F 大教室	



秋も深まり、アルプスの山々ではいよいよ紅葉が始まった。紅葉といっても、赤くなる葉は少なく、大半が黄色系統ではあるが、黄色の中に深紅の葉が混ざると、その色模様がより一層引き立って印象の深いものになる。近郊の低山では紅葉は11月からである。ハイキングに行くもよし、またふもとの神社・仏閣を散策するのも心が洗われてよいものである。

秋の山行を楽しみにしていたのにまたまた台風がやってきた。今年台風は発生は少ないが、やたらに日本に上陸する。台風10号も日本列島縦断コースをとり、大量の雨を降らせた。京都市内では300ミリ以上の雨で、堀川の水が溢れ出して地下鉄の中に流入してくるのではないかと思うくらいの激しさであった。

折りしも10月18日は地下鉄東西線の開通一周年を記念して、醍醐車庫の見学会を実施したが、上陸した台風がスピードアップして当日の未明に通り過ぎたので、きわどいところで中止にならずにすんだ。

しかし、約700人の参加市民に一人一人電話して、台風がきたときの対応を通知するなど大騒ぎであった。まことに人騒がせな台風であった。

台風といえば日本経済にも嵐が吹き荒れている。GNPはマイナス成長だし、失業率は戦後最悪の状況である。大きな企業が次々に倒産している。バブルの時代の勢いがよかっただけに、その落差のおおきさに驚く。めったに行かないが祇園の夜の街も寂しい限りである。日本経済が沈滞すると、当然のことではあるが税収が減る。特に法人事業税に大きく依存している地方財政は火の車である。東京や神奈川・大阪などバブル時代に税収が増大し、予算規模を拡大した自治体は、巨額な財政赤字を抱えて再建団体に転落する寸前である。

京都市の財政状況もちろん厳しい。交通局はより一層厳しい状況である。バス事業はいよいよ南西部の管理受委託に踏み込みだした。規制緩和、自由参入になれば、人件費の高い市営バスは競争に勝てないであろう。公務員としての賃金体系を維持しながら、民間バスと同じ競争力をもつことはどだい無理であろう。交通局の嵐は収まりそうにない。

(H. 10. 10. 18. 記. S. 1.)

北 蔵 王 の 山 々

三 橋 勉

6:17分発の新幹線で東京駅15番線から隣の22番ホームに乗り継いで約5時間、仙台駅11時12分着で永浦さん（仙台市交通局OB）のお出迎えを受け、マイカーに便乗させてもらって国道48号線を走り、関山トンネルを越え山形県に入った先の大滝ドライブインで、大きなおにぎりとお茶を買い、1時すぎに天童キャンプ場に到着。早速昼食という時に永浦さんに笹餅を頂いたので、おにぎり1つで満腹となった。

面白山へのコースはよく手入れされたゆるやかな山道が続いており、右手に木々の間からポリュウムのある一等三角点大東岳が見え隠れしていた。やがて長命水という水場に出ると、案内板があり右の矢印が「長左エ門平へ」左矢印に「天童高原へ」上の矢印には「面白山」とあった。豊富な水が出ていたので早速、冷たい美味しい水をいただき一息つく。ここまで30分かかった。

ここから尾根に取り付き急な登りが続くが、やがて緩やかな登りとなり、前方に展望台が見えてきた。辺りの展望が開けてくると、右手にめざす北面白山があり尾根続きに大東岳や南面白山が姿を現してきた。30分で三沢山展望台に到着。天童市最高地点という案内板があり、ここから一旦下って登り返すと面白山である。約40分程で二等三角点1,264.4m面白山に到着する。

遮るもののない360度の大展望台であるが、残念ながら遠くがかすんでいて鳥海山まで見えなかった。月山がなだらかな山容を雲の上に見えている。北東には船形山、泉ヶ岳そして南側には南蔵王の山々が重なって見えている。南西の雲が夕日に赤く染まり印象的であった。

下山は途中まで県界尾根を下り、右手の尾根を下ると、かなりの急降下で登りコースでなくてよかったと思った。三差路に降り右手のユリ道を行くと、先程の長命水である。途中でカモシカに出会った。約10mの間隔で2、3分お互いににらめっこして、こちらが近付くとシャット姿を消した。

長命水から元来た道に戻り、キャンプ場へ帰って来たころには薄暗くなっていた。本日は天童高原ロッジに泊まる。

翌朝、快晴となりロッジの裏側から鳥海山や葉山が見えた。表はスキー場のゲレンデである。ここから昨日眺めた大東岳へ向かうので、登山口まで1時間25分かかって移動するが、途中で朝焼けの雲が美しい。

登山口に到着すると今日は土曜日で、かなり人気のある山なのかマイカーで一杯である。

表コースは標高差900mで約5キロの道程である。杉林の中を進み立石沢をわたる手前の広場で、朝食のおにぎりをいただく。冷たい水で喉を潤し元気に出発する。しばらく行くと三合目と記した立派な石柱があり、気づかなかったが一合目から順に九合目まで御影石で設置してあると

のことである。

船形連峰展望所に着くとそこが五合目であった。ここから尾根上の道を登って行くと、六合目で1,000mを越え八合目では、いよいよこれから鼻コスリという急登である。登って行く途中でもう夏も終わった9月であるのにミンミン蝉の泣き声が聞こえてくる。ヤット九合目で灌木帯の緩やかな登りとなりヤレヤレである。あと200mという標識があり、いよいよ頂上であると思っ

てからがナカナカ到着しない。
ヤット頂上に出ると、サアッと視界が開けて大パノラマの展望台に出た。さすがに一等三角点1,365.55mである。幾重にも山並みが重なり、山の方向を示す展望石があり北に昨日登った面白山、その奥に栗駒山、船形山、泉ヶ岳。北西に月山、その前に南面白山と小東岳、その奥に大朝日岳、糸岳、神室岳、その後ろに蔵王連峰、そして仙台市と大白山である。

山頂は大勢の登山者でにぎやかである。この山は台形の山なので、少し低い西側の頂きに行くと誰もいない静かな山頂で、南の山々である雁戸山の続きに蔵王連峰がよく見えた。さあここからイッキに約500mの高度を下げる長い急な下りで、弥吉ロコバシと言う名のいわゆる裏コースである。足場が悪いので慎重におりる。アッと言う間に樹林帯に入ってしまうもう展望は望めない。下へ降りるとがくり沢沿いに降りる。この辺りはブナ林が広がっている。やがて避難小屋のある樋の沢出合いに出た。避難小屋の奥へ行く道（あの歌で有名な山寺へ通じている。）に本流があり、大きな岩と岩の間、幅1mたらず長さ5m程の自然にできた水道に谷の水が勢いよく流れている場所で、昼食にする。

ここから6キロある沢伝いに下るが、道はだんだん沢から離れてトラバースぎみに進むと対岸に裏磐司という大きな岩盤があった。しばらく行くと今度は歩いている側の左手の岩からチョロチョロと落ちてくる雨滝があった。やがて林道にでると間もなく車止めの本小屋に到着し、あれだけあった車は2台になっていた。早速明日に登る山の近くにある、一之湯温泉まで走ってもらい今夜の宿に到着した。

翌朝6時すぎに宿を出発。今日は泣面山二等三角点751mへ登る。この山はあらかじめ永浦さんと庄子さんが、登山道の下見をしていてくださった。6時45分林道の中を沢沿いに登って行くと、やがて沢の源頭になり、水を汲んで右手の尾に取り付く。だんだん急坂になってきて、柔らかい土に足をとられながら、辺りの木々に捕まり登って行った。やがて尾根に到着すると、左の方向に行くように目印が付けてあった。一息入れてその尾根を登って行く。今回の山行きで初めて、道なき道を歩いているが、たいしたブッシュもなく明るい自然林の雑木林の緑がきれいである。主尾根に合流し右へ向きを変えて登って行くと、伐採された所にケーブルのワイヤーが張りかけてある工事の所へ出た。直登すれば近道であるが、左手へ迂回して回り込むように登って行った。やがて傾斜が緩やかになり頂上が間近になってきた。

8時25分ススキの原っぱである頂上二等三角点に到着。北の方向がよく見え、泉ヶ岳からこだるみがあり、三峰山、船形山系です。と説明を受ける。良いお天気であるので気持ちが良い。

朝食の変わりに作ってもらった宿のお弁当をここでいただく。約1時間山頂で過ごし名残り惜しいが、元きた道を下山する。昨日の宿で温泉に入って今回の山旅が無事に終わった。マイカー

で案内して下さった永浦さんには大変お世話になり、ありがとうございました。

【コースタイム】 河村 清

【同行者】 三橋 勉, 井上欽司, 河村 清, 地元 永浦忠吉氏

9/11日

京都駅発 6:17 — 仙台駅・発 11:12 ~ 11:25 — 関山トンネル通過 (国道8号) 12:24
— 天童キャンプ場着・発 13:15 ~ 13:47 — 長命水 14:23 ~ 14:30 — 三沢山展望台
15:01 ~ 15:20 — 面白山 (二等△1,264.4m) 着・発 16:03 ~ 16:40 — カモシカコース
下山林道に降り立つ 17:30 — 長命水 17:50 — (この間でカモシカに遭遇する) —
天童キャンプ場 18:20 — 高原ロッヂ 18:25 — 就寝 21:50

9/12日

起床 5:40 — ロッチ発 6:25 — 国道48号線道半集落交差点左折秋保温泉方面へ 7:25
— 大東岳登山口駐車場 (本小屋) 7:50 ~ 8:00 — 五合目 (舟形連峰展望所) 10:05
— 標高1,023mの図標点 10:37 — 大東岳 (一等△1,365.8m) 着・発 12:00 ~ 12:40
— がくり沢 14:07 — 樋の沢出合 (昼食) 本小屋まで6kmの道標あり 14:25 ~ 14:50
— ケヤキ沢 15:34 — 盤司岩 15:52 — 雨滝 16:11 — 駐車場 16:50 ~ 17:00 —
一乃湯 17:50 — 就寝 21:10

9/13日

起床 5:50 — 一乃湯発 6:25 — 駐車点 6:45 — 水場 6:55 — 第一ポイント 7:30
— 第二ポイント 7:55 — 泣面山 (二等△751.0m) 着・発 (朝食) 8:25 ~ 9:30 —
駐車点 10:32 — 一乃湯 (入浴) 10:55 ~ 11:30 — 途中昼食 11:35 ~ 12:10 —
地下鉄富沢駅着・発 12:50 ~ 13:06 — 仙台駅着・発 13:20 ~ 13:57 — 京都駅発 18:59
— 無事自宅着 19:20

鈴鹿 雨乞岳を變更

竜王山 (826 m)

山元 誠一

鈴鹿第二の高峰雨乞岳へは、平成2年の春にも挑戦したものの、頂上の手前で、雨と激しい風、そして数メートル先も見えないガスの中で、危険を感じて登頂がならなかった。その翌日に鎌ヶ岳に登り、頂上から見たその双子の峰が脳裏から離れず、いつか再行しようと考え、今回計画したものである。

10日間以上も雨模様の日が続いて、心配していた天候も、当日は朝から青空が広がる好天で、最高の山行が期待された。

壬生に7時に集合。参加者は、井戸さんと清水君と私。もう一人馬淵君とは、登山口である武平峠で待ち合わせることにし、名神東インターから栗東インターへ。1号線を土山町、北土山の交差点を左折し、青土ダムの右岸の道を快適に走り、鮎河の三叉路を左折し、大河原へと向かう。途中の道路掲示で、「鈴鹿スカイライン道路工事通行止め」となっており、一抹の不安を感じていたが、大河原にある国民宿舎かもしか荘の方に聞くと何と「鈴鹿スカイラインは、9月の台風7号の影響で、土砂崩れとなり、10月1日から工事のため通行止め」との事。それでも、淡い期待を抱いて、先に進んだものの、道はゲートで閉じられていた。

馬淵君とは、武平峠で待ち合わせることにしていたため、何とか連絡をとったがままならず、元来た道に戻っていくと、青土ダムの手前で馬淵君の車とすれ違った。しかし、馬淵君が気づかず、また、Uターンして追いかけることに、かもしか荘のところで、ようやく合流することができた。どうするか、鳩首会議の結果、どこか、近くの山ということになり、「竜王山」へ行くこととした。

かもしか荘横の477号を北へ向かい、音羽の交差点を右折し、西明寺へ。林道が続いており、さらに詰めると、ころあいの駐車スペースが見つかり、車を止める。我々が、身仕度を整えていると、車が2台通っていったが、更に奥まで入って「綿向山」へ登られるのであろう。我々は、少し戻った林道横に、「竜王山」の標識があるところから登りだす。

疎林の中をゆっくりと歩く。登る人が少ないのか、道には至るところに蜘蛛の巣が張っていた。途中一回休憩しただけで、1時間余りで頂上に着いた。何故か、馬淵君の腕には、1匹の「山ヒル」がついていた。間近には綿向山が見え、そして、その奥には、またまた行けなかった雨乞岳が見えた。少々もの足りなさを感じたが、今から綿向山まで行くのは億劫になり、少し、早すぎるが、用意してきた「炊き込みうどん」を作って食べる事とする。爽やかな風とまぶしい太陽の

光を浴びながらの贅沢な時間を過ごす。

1時間余り休息してのち、もと来た道を下る。道端には、先程見た時には、蕾であった一輪のりんどうが、太陽の光を浴びて、少し花びらを開いていた。

時間が十分あったので、「かもしか荘」の露天風呂に浸かってから、帰路に着いた。かもしか温泉の成分は「炭酸水素塩泉、放射能泉」とのことであった。

再び、その頂上を踏めなかった、雨乞岳、何か、因縁を感じる山である。

【参加者】 井戸澄夫、馬淵拓巳、清水康裕、山元誠一

【コースタイム】

壬生 7:15 — 名神東インター — 栗東インター — 大河原 9:10

西明寺 9:30 — 登山口 9:50 — 竜王山山頂 10:50 (昼食) 11:50

登山口 12:20 — かもしか荘 13:00 — 13:40 — 壬生 15:40 着

例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	備考
2188	金勝アルプス 鶏冠山と竜王山	9月12日	晴	馬淵拓巳	井戸澄夫 堀田 剛 松浦健一	桐生キャンプ場～鶏冠山 ～天狗岩～竜王山～狛坂 磨崖仏～おらんだ堰堤～ 桐生キャンプ場のハイキ ングコースを歩きました。 9月も半ばというのに大 変蒸し暑い日となりました が、ちょうどいい汗を かけたと思います。
2189	北蔵王の山々	9月11日 ～13日	晴	三橋 勉	河村 清 他2名	(別稿詳報)
2190	鈴鹿山脈 雨乞岳を変更し 竜王山	10月3日	晴	山元誠一	井戸澄夫 馬淵拓巳 清水康裕	(別稿詳報)

部 員 動 静

目 的 地	月 日	天 候	参 加 者	記 事
宮後忌 マmanaガレ	10月3日	晴	伊藤 潤治 三橋 勉	国道9号線の関宮から、ループを越えて但馬トンネル入口の手前で右折し駐車（京都から3時間）。8時15分雑草で覆われた旧国道をジグザグに登り、八木谷峠の手前から、伐採された尾根に取り付き高度を上げて、振り向くと、北鉢伏スキー場から鉢伏山や氷ノ山が見えてきた。やがて町境尾根に出てその尾根を忠実に辿るが、かなりの急登で、藪や植林道や伐採後などを登りヤットコサ頂上の二等三角点963.8mに到着。早速今は亡き宮後先輩のご冥福を祈った。頂上から東に妙見山1,139mが高く大きく見えた。（登り約3時間半、下り2時間）

雑 報

△△△ 10月の集会

日 時 10月9日（金）18：30～
 場 所 厚生会館 4F 大教室
 出席者 （OB）河村，坂井，三橋，渡辺，岡田，岡本（勇）
 （本局）井戸，方山，山元 （梅津）吉田 以上10名
 内 容 例会報告，例会予定

△△△ 9月の企画運営委員会

日 時 9月21日（月）18：30～
 場 所 厚生会館 4F 大教室
 出席者 井戸，吉田，大倉，三橋，山岡
 内 容 例会予定，岳連報告ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

10月分 趣味の登山，青嶺，近畿山行，わっぱ，山友，北山，比良山岳，
 京都山岳，木雞

△△△ 追加例会

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2197回 愛宕山と柚風呂	12月6日(日) 10:00 清滝 駐車場横	吉田 武 (内654)	赤滝-愛宕山-水尾岐れ- 水尾「マユゲン」861-2376
申込み 11月末日まで			
第2198回	11月25日(水) 9:00 醍醐駅	三橋 勉 (581-3562)	醍醐駅-宇治田原-犬打峠 -鷲峰山
マイカーで行きますので担当者まで連絡して下さい。			

家庭用品 } 総合卸商社
衛生用品 }

日華商事株式会社

本店 京都市南区上烏羽大物町13番地
☎ 601-8121 電話 (075)672-6101(代)
FAX (075)661-7332

八坂運送有限会社

京都市伏見区醍醐新町裏町24番地の4
TEL (075) 571-1108

帆布・濾布
テント・シート
雨合羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)

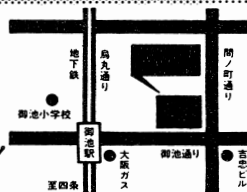
西大路営業所

下京区西大路七条下ル
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カヌーをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



LODGE 株式会社 ロッジ

営業時間 AM10:00~PM9:00 (年中無休)
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
TEL. 075 (222) 0363 FAX. 075 (223) 5256

京都で唯一の山の専門店

Now Outdoor sports

ハイキング&キャンプ・クライミング
アウトドアウェア・US製用品
ポータブル用品

mountain

〒604-0931 京都市中京区二条通河原町西入
TEL 075(256)-0548
営業時間 AM10:00-PM8:00 毎週火曜定休
（株）スポーツ・ソコニシ

葦あしの髄ずいから天井を覗く… ④

自分史の著者との打ち合わせで出張することが多くなった。仕事を終ってから地方の赤提灯へ飛び込んでお国訛を着心地酒をチビチビとやるのは何とも楽しい。全国ブランドのものは標準語で話を聞くようで、性に合わない。桶買いでブレンドされて特徴がなくなったのか。本年は呑み助のアイドル的存在である若山牧水の没後四十年に当たる。

白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒はしずかに飲むべかりける

制作 朝北斗プリント社
〇七五―七九一―六一二五
(文責 波多野)

建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
国土地理院空中写真（カラー・白黒）取次
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
各種地図製作並びに印刷
地形図は、5万・2万5千とも全国を常備しております。

 小林地図専門店

株式会社 **小林地図専門店**

〒600-8174 京都市下京区烏丸通上珠数屋町東入る（3軒目北側）
☎(075) 351-6598(代)

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88
TEL (075) 771-3442

平成10年11月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部